

平成17年度 秋空の下で楽しい思い出を 森の子くらぶ 教育振興部

十月二十二日(土)少し肌寒さを感じ、今にも降りだしそうなお天気の中、甲府市小中学校PTA連合会主催の第七回「森の子くらぶ」が開催されました。

開会式

昨年からは甲府盆地を見下ろす「愛宕山」での開催となりました。はつきりしないお天気のせいだったのですが、参加者は少なかつたです。それでも約三百人の参加となり、愛宕山少年自然の家担当の方が、たつた一度の一年…つまり五歳、七歳、十歳と…その歳は人生でたった一度です…とお話をしてくださりました。今日の日を大切に、楽しい思い出を作りたいと思えます。ポツポツと降りだした雨の中、ネイチャービンゴゲーム及びフィルムケース笛の説明があり、参加者はA班、B班と、二つの班に別れA班はフィルムケース笛作りを、B班はネイチャービンゴゲームへと移動しました。

ネイチャービンゴゲーム

キャンプ場へと移動し、更に小人数に別れました。キャンプ場では、お昼に食べるカレーの準備が進められています。お昼がとて



楽しみです。朝受付で配られたネイチャービンゴカードに書かれている物を探しながら順次山道を下って行きます。さあ！ネイチャービンゴゲームのスタートです。大小の石がゴロゴロしている山道を、グループ毎に散策しながら進んでいきます。トゲトゲの葉っぱでこれでもいいかな？「秋の香りのする物はどれ？」「自然がいっぱいだね！」などと話しながら足元に注意し、歩いて行きます。途中、森作り体験では、幼木の周りの草刈をします。この木が元気に、大きく育つようにと願いながらみんな一生懸命に草刈をします。そしてネイチャービンゴカードに書いてある草刈のところにしるしをつけます。

自己紹介ゲーム

ここからは山道を上って行きます。緑のスタンプ見つけたよ！「どこ…どこ…」そう言いながらどンドン上がって行く子、滑らないようにゆっくり歩いて行く子、木の根につまづき転びそうになる子、思ったより大変だわ！と、日頃の運動不足を感じていたお父さん、お母さんそれでも、みなさん笑顔でゴールしました。お疲れさまでした。

開会式が行なわれた野外ステージに戻ってきて一息大人は疲れているようすが、子供は元気なようすが、子供は元気なようすが、持参した飲み物で元気を回復して、さあ自己紹介の始まりです。ネイチャービンゴゲームで別れた班毎に輪になって係りのお兄さんが配ってくれたボールを、手にしている人からスタートします。終わったら、手にしていたボールを投げてそのボールを受け取った人が次に自己紹介します。キャッチボール自己紹介です。照れながら話すお母さんや、八キ八キと話す子や表情はそれぞれですが、最後に全員で握手！今日初めて出会った人達ですが、ここで少し打ち解けてきたようです。

フィルムケース笛

フィルムケースが笛になるのかな？みんな不思議に思っている、指導をしてくださるお兄さんが一曲吹いて下さいました。とても綺麗な音にみんなビックリ！！です。



用意されたフィルムケース、ストロー、カッター、ハサミ、セロテープを使って作りまします。フィルムケースには、あらかじめ印が付いていてその印のところをカッターとハサミを使って穴を開けます。開いた穴の所に半分に切ったストローの先端を指で当てます。ストローを少しずらずらしながら、音が出た所をセロテープでとめます。音の出る位置を見つけるのが難しく、なかなか音が出ずみんな一生懸命に挑戦しています。中には指導して下さったお兄さんに手伝ってもらった人もいたようです。そのうち、あちらこ

閉会式・昼食

A班、B班と二つ班がそろったところで閉会式が始まりました。成績発表では、ネイチャービンゴカードが全て埋まった人が何人かいました。よく頑張りました。フィルムケース笛は三人の子供達が曲を吹いてくれました。ちゃんとしたメロディーになっていて、みんなから大きな拍手をもらいました。よくできました。閉会式後はおまじかめの昼食です。昼食は場所をキャンプ場に移動してとなり、みんな移動です。キャンプ場入り口付近で大きな袋に入ったお・や・つをもらいます。これも子供達には楽しみの一つです。各自持参した食器を手に、役員さんが作ってくれたカレーとご飯をよそってもらいます。自然の中で食べるカレーはおいしいですね。



参加した方の感想として「楽しかったです。ただ：こんなに歩くと思っていませんでした。または是非参加したいです。保護者、山道を歩くのが大変だった。5年女の子、普段山の中など入らないので、いい経験が出来ました。保護者、山道では列がつかまってしまいうので急いで歩いた。もう少しゆっくりと木や葉っぱを観察したかった。保護者、笛作りは楽しかった。でも難しかった。4年男の子、昔、小学校のころストローだけで笛を作った事がある。懐かしかった。保護者、笛はすぐに音が出たからうれしかった。5年女の子等ありました。役員の方々は事前の打ち合わせや準備など、ご苦労様でした。

郷土への誇りを持てる人を育てる

教育振興部部長 功刀辰也

今回の目的は、体験学習を通して地元を山を知り、郷土への誇りを持てる人を育てる、と、昨年に引き続き、愛宕山で開催することに決めました。まずは前回のアンケート結果や反省点とのならめつここに始まり、担当副会長と正副部長とで連日の打合せ。準備万端整ってやっとならめつ十月二十二日。当日の朝は予報の期待に反して小雨でした。戸惑ったものの、開催しましょう！という天野会長の力強い一声で開催を決定し、降ったり止んだりのどつちつかずの空模様の下、森の子くらぶが始まりました。その天候のせい参加者は三三七名と例年を下まわりましたが、昨年の反省を踏まえると丁度動きやすい人



数でもあったようです。A・B班に別れ、自己紹介ゲーム、ネイチャービンゴゲーム、笛作りと行動していたきました。閉会式では、講師でネイチャービンゴの満点(十二通り)の子供が十人位いたことを知り驚きました。また、フィルムケース笛の音階が出来た子供の上質な演奏を披露していただくこともできました。そして昼食のカレー。最高のおいしさでした。三名の副部長を中心とした教育振興部員の皆様、市P連の役員及びご協力いただいた関係者の方々のおかげで無事終了することが出来ました。この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

教育振興部 年間活動報告

- 五月二十七日 第一回正副部長会議
- 「年間活動計画」
- 七月一日 第一回部会
- 「年間活動計画について」
- 「森の子くらぶの内容役割分担について」
- 七月二十二日 第四回正副部長会議
- 九月一日 第七回正副部長会議
- 九月九日 第二回部会・ネイチャービンゴ体験及び班毎の役割分担確認
- 十月二十一日 森の子くらぶ事前準備
- 十月二十二日 森の子くらぶ開催
- 愛宕山少年自然の家 参加者三三七名
- 十一月四日 「全体研修会」参加
- 十一月二十七日 第十四回正副部長会議
- 二月十七日 第三回部会

「一年を終えて」

教育振興部部長 功刀辰也

何もかもが初めての経験であった市P連の各種行事中、でも当部会のメイン行事である、森の子くらぶを、部会員皆様のご協力により、無事成功裏に終えられたことに感謝申し上げます。ありがとうございます。市P連は、天野会長を中心に全役員が結束し、市内の子どもたちとその親の素敵なふれあいの時を作るために活動を続けています。皆様も是非参加してみてください。最後に、一年間ご協力を頂いた教育振興部、山田副部長・本多副部長・若下副部長、本場にありがとうございました。

「食育」も「共育」から見直そう！楽しく一緒に食べることの大切さ

母親委員会

母親委員会主催

中学校給食業者施設見学及び給食試食会

- ・日時 平成十七年十一月九日(水)
- ・見学先 有いずみ食飯(東中、南西中、北東中、北西中担当)
有新平屋(西中、北中、富竹中担当)
株富士フードサービス(南中、城南中、上条中担当)
- ・試食会場 南中学校 体育館
- ・参加人数 一六〇名

施設見学当日、私達取材班は、朝八時に西中に集合し、三業者のうち新平屋の施設見学を行いました。

中学校給食の献立は、市教育委員会の栄養士の先生を中心に作成されたものをもとに、中学校給食献立作成委員会及び物資購入委員会、教育委員会の担当者、給食業者・各中学校の給食主任教諭・市P連の担当者で構成して検討されています。同委員会では献立内容の検討に加え、実際に使用される食材の一部を試食して比較検討し、よりよい給食になるように話し合われています。実際に調理するまでの段階で苦労が多い事がわかりました。

毎日の給食作りは朝四時から始まり、野菜のカットも全て当日行われています。材料の切り方、盛り付けに

至るまで業者間で統一するなど、同じものが行き届くように心配りがなされています。衛生管理に關しても、食中毒予防のため、温度管理は年間を通して気を遣って下さっています。

これだけ手間をかけ、心を込めて給食が作られていることを知り、感謝の気持ちでいっぱいになりました。しかし、その給食を食べ残す子が多いと聞き、申し訳なく、残念でなりません。

食事時間が十五分という短かさも原因の一つでしょう。同時に「食べ物を大切にしよう」という基本的な姿勢が身につけていない点もあるでしょう。家庭での食事のしかた・食に対する教育のあり方を再考させられました。食卓を家族全員で囲み、食事をとることが少なくなっている現代の家族

のあり方が、給食にも反映しているように思いました。来年度も、より多くの方に参加していただき、給食のありがたさ・大変さを実感して、家庭に帰り、子ども達と話し合ってもらいたいと痛感しました。

(取材班 貢川小・吉村・浅川)



献立

- ・ ひれかつ
- ・ ポテトサラダ
- ・ せん切りキャベツ
- ・ いかのトマト煮
- ・ クルミあえ
- ・ ひじきの炒め煮
- ・ ごはん
- ・ 牛乳

試食会を終えて

母親委員長 武川 久子

本年度の施設見学は、富士フードサービス・いずみ食飯・新平屋の三業者を見学しました。(中食フーズサプライズは、二学期より大里小学校の給食に専念)各中学校のPTA活動でも給食試食会が行われていますが、この給食試食会では、三業者の給食を同時に試食することが出来ます。又、本年度は初めて山梨県学校給食協同組合の方もご出席して下さい。甲府市教育委員会事務局の方や保護者の皆様と出席していただく事ができました。保護者の生の声が、給食業者の方にも甲府市教育委員会の方々にも直接届く良い機会となりました。又、施設見学では、三業者とも、衛生面・安全面に充分に配慮して、子どもたちに、より美味しい給食を提

供する事を第一に考えていただく事が見学した保護者の皆様にご理解頂けたと思います。

現在の中学校給食は、父母達による署名活動等などの強い要望により、平成九年度から民間業者への委託による、弁当方式の給食で実施されています。給食試食会によるアンケートの結果や子どもたちの意見・要望などを反映していただき、メニュー・味付け・容器など、年々改善されてきています。それでも子ども達の食べ残しが減らないのが現状です。給食の時間が短く、食べきれないのも理由の一つにあげられています。しかし、子ども達の「食」に対する意識が違ってきているのも大きな原因だと思っています。心も身体も成長期真っただ中の中学生にとって、「食」は何よりも大切な物はずです。食は、食べた物だけを食べている時に食べる「事が習慣づいている現代の子ども達の「食」への意識は低くなっているのではないのでしょうか。

「食育」は人間形成の上で、最も重要な基本です。年齢に応じた身体の成長だけでなく、心の成長にもとても大きく関わっています。人間は食べる事で心も身体も育ちます。「食育」という言葉は百五十年も前からあるそうです。食育・体育・知育・才育・徳育の「五育」があり、「食育」はしつけの根幹だったそうです。私達、親も子どもを育むという基本にもどって、子ども達と一緒に「食」の大切さを理解し、重要性を考えていかなければいけないと思います。

語りながら、笑いながら、楽しく食べれば、子どもはすくすく育つそうです。是



「一年間を終えて」

母親委員会委員長 武川久子

母親委員会は、各単位PTAの女性副会長さんなどが市P連へ出向し、構成されている委員会です。

母親委員長として活動させて頂き、たくさんの方々とお会いする機会が多々ある中、私自身が色々勉強をさせて頂きました。皆さんが子ども達にとってよりよい環境を、とお忙しい中、熱心に活動されている事に感動しました。「食」について考え、学び、実践するための法律の「食育基本法」が施行された今年度、健全な食生活と感しました。子どもを育てる事で親も子どもに育てられる、という事を痛感した一年でした。

みなさんのご協力と基本理念に基づき、活動を進めることができ、ありがとうございました。

施設見学及び給食試食会開催にあたり、保護者の皆様のご参加を頂き、有り難うございました。

真冬の厳しさを感じる中、学校給食の根幹を支えているパン業者施設の見学を行いました。今、甲府市内のK.O.堂さん(不二製パンさん)と二製パンさん(一般的なパンの原料)は水と塩と小麦粉、イーストなどですが、給食用のパンは余分な添加物を一切使わずに、作って

母親委員会 年間活動報告

五月十四日	第一回委員会
六月十八日	第二回委員会
七月二日	給食技能員さんとの懇談会
十月八日	第三回委員会
十一月五日	県P母親リーダー研修会
十一月九日	中学校給食三業者施設見学及び試食会
十一月十一日	大里小食育方式給食試食
十一月十四日	全体研修会
十一月二十六日	母親委員会活動内容展示
十二月三日	中学校給食パン業者二社施設見学
二月三日	笛南中自校方式給食試食
二月二十八日	第四回委員会と食育学習会

学校給食パン業者施設見学

～パンの香りに包まれて～ 平成18年1月26日(木)

心地よいパンの香りに満ちた工場内は、数多くのパンの食缶が整然と積み重ねられていました。驚いたのは甲府市内の学校ばかりではなく、南アルプス市や遠くは上九一色や富沢の学校まで配達していること。甲府市内の中学校へは当日の朝焼いたものを届け

ていること。全国でも珍らしい取り組みだそうである。業者さんの多くが、苦労の上に給食が成り立っている事がわかりました。

一般的にパンの原料は水と塩と小麦粉、イーストなどですが、給食用のパンは余分な添加物を一切使わずに、作って

いることも分かります。市販のもの甘くて柔らかいのは、裏返せば添加物を使っているからです。

食の安全が重要視されている昨今、たった一個のパンにもさまざまな配慮がなされていることに驚き、安心しました。



た。今回のパン工場見学を通じて我々が知り得たことはとても新鮮でした。それだけにこういった面を子ども達に伝えることも大人に課せられた重要な部分であり、今後の「食育」に繋がっていくものであると思えました。

(取材班 富竹中・樋川、小野)

創り上げる喜び

情報活動部

昨年五月十四日の新旧理事会で、今年度の部長・副部長四名が選出されました。誰も経験者がいない中での出発でした。年に二度の市P連だよりの発行を中心に、報道機関に取材を要請するパブリシティ・部員の親睦を深めるための部会設定、各校の情報交換をするための全体研修会でのPTA新聞展示・ホームページ更新など、情報活動部としての仕事の多さに驚きました。

第一回部会

七月二日(南公民館)

部会では、今年度の活動計画等が審議された後、各ブロックに別れて、学力低下についての話し合いがなされました。

小学校

・朝十五分の読書、母親による読み聞かせを実施している所が多い。
・平日のゆとりが少ない。ゆ

中学校

・学校によって習熟度別クラスを二教科もしくは五教科で実施している。
・学校では教科書中心で基礎を学ぶため、応用力が身につかず、学習方法がわからない子どもが多い。
・来年度、高校入試が全県一区になるので親は不安である。もっと情報がほしい。
・本を読まない読解力が身につかず、全ての教科に影響する。
・部活動が厳しく勉強との両立が難しい。
・思春期の子ども扱いに戸惑っている。何かやる気を伸ばす手だては無いだろうか。

「競争から共創の時代へ」

甲府市小中学校PTA連合会

会長 天野 一

今は昔、日本は安全な国だった。時が過ぎ世の中は変わった。昨年の十一月に広島県で、十二月には栃木県で、下校途中の小学生の女児が殺害されるというたいへん痛ましい事件が発生しました。短い生涯を終えることとなった女子児童と、その両親、ご家族の心中を思うとき、悲しみと憤りで胸が締め付けられる思いをしました。同時に、このような悲劇を二度と起こしてはならないと思いを新たにしました。

今年度、甲府市小中学校PTA連合会では、「教育から



是非子どもを守る活動を自分の問題として考えていただき、地域全体で犯罪から子どもを守る取組みにご理解・ご協力をお願いすると共に、今後とも市P連の活動に對しましてご支援をお願い致します。



礎を学ぶため、応用力が身につかず、学習方法がわからない子どもが多い。
・来年度、高校入試が全県一区になるので親は不安である。もっと情報がほしい。
・本を読まない読解力が身につかず、全ての教科に影響する。
・部活動が厳しく勉強との両立が難しい。
・思春期の子ども扱いに戸惑っている。何かやる気を伸ばす手だては無いだろうか。



山梨日日新聞社 本社見学

十月二十一日

当日は、三十六名の部員が集まり、二組に別れて山梨日日新聞の歴史を学び、現在の多方面にわたっての印刷の仕組み等について説明を受講した。その後、ラジオ番組収録現場、テレビ番組のスタジオ等を見学。また、編集室で新聞の紙面作りに多くの人が関わっているのを目撃することができた。

第二回部会

二月十三日(西公民館)

天野会長・奥石・狩野副会長にご参加をいただき、一年間のまとめがなされました。会長より昨年度PTA新聞コンクールで奨励賞に輝いた玉諸小学校の広報紙「玉P通信」についてお話をいただきました。各校の新聞作りにとっても参考にな

市P連のホームページ知ってる？

みなさん市P連のホームページをご覧になった事ありますか？市P連の活動予定・内容・講演記録などが紹介されています。今年度は五回更新されています。是非アクセスしてみてください。
http://www.ice-net.or.jp/p_tako_fu_welcome.html



- 17年度スタッフ紹介
- 部長 今村 公子
 - 副部長 今井 礼子
 - 城南中 今井 礼子
 - 西中 長田 晶子
 - 相川小 新堀 裕美
 - 運営委員校
 - 西中(鈴木・片田・長田)
 - 貢川小(朝川・吉村)
 - 富竹中(樋川・土屋)
 - 北中(青柳・今村)
 - 山城小(山口・秋山)
 - 東小(二宮・渡辺)
 - 大里小(岡田)
 - 城南中(石川・今井)
 - 琢美小(竹入・三井)
 - 玉諸小(細田・青柳)
 - 相川小(手塚・新堀)
 - 北西中(油井・雨宮)
 - 附属小(古屋・塩谷)

三人の副部長さんには特別にお世話になりました。事務局の今村さんのご協力は嬉しく感謝感謝です。(今村 公子)

他校の方々と交流する貴重な経験をしながら二度の新聞を無事発行する事ができ有意義な一年でした。(今井 礼子)

この一年間で今まで知らなかった多くのことを学びました。新しくすばらしい仲間と出会えたことが一番の収穫です。(長田 晶子)

自分が携わった新聞が発行される事の満足感、他の学校の方々とつながりができた充実感、素敵な一年でした。(新堀 裕美)

編集後記

情報活動部 年間活動報告

- 五月 年間活動内容計画について
- 七月一日 第一回部会
- 「学力低下について」
- 七月十二日 第五十五号
- 「市P連だより」発行
- 十月二十一日 第二回部会
- 「山梨日日新聞社見学」
- 十一月四日 全体研修会
- 情報活動部パネル展示
- 二月十三日 第三回部会
- 「一年間の反省とまとめ」
- 三月初旬 第五十六号
- 「市P連だより」発行
- HPP更新
- (六月・八月・十一月・二月・三月)
- パブリシティ活動
- (新聞社テレビ局へ取材要請)五回